

# ファクシミリ送付票

平成 29 年 3 月 14 日

宛 先	発 信 者
組合員各位	協同組合広島県鉄構工業会 Tel 082-238-6539 Fax 082-238-8326 事務局長 岡田 奨

送付枚数(送付票含む) 2 枚

## ※連絡事項 レーザー加工孔の記事の件

別紙の通り、組合が実験のお手伝いをした「レーザー加工孔」の記事がジャーナルに掲載されました。今年 10 月の J A S S 6 の改定で高力ボルト用孔あけ加工の標準仕様の一つとして「レーザー加工孔」が追加される見通しです。10 月以降は、レーザー加工が許容される部位であれば、堂々と使用できることとなります。というより、実際のビジネスではすでに動き出しています。レーザー加工機メーカーは、清水教授の論文を携えてレーザー加工機の売り込みを初めており、中国地区の S グレードファブは、レーザー加工機を購入したという噂も出ています。記事に「小梁のガセットプレートなど、形状が複雑な切り板をレーザー加工を行うのに合わせて、孔あけを同時に行うことができれば、レーザー加工のメリットを活かすことができる」とあります。10 月までは、この記事をレーザー加工孔の提案に活用していただければ幸いです。

注) 組合員さんからご指摘がありましたが、ドリル孔とレーザー加工孔の写真は、逆です。後日訂正が掲載される予定です。